

BLACK LABEL

地獄の ゾンビ黙示録

1/16 スケール ゾンビ プラスチックモデル



ゾンビプラモ『地獄のゾンビ黙示録』は 80 年代のB級ホラー映画をイメージした、これまでに無い全く新しいスタイルのプラスチックモデルシリーズです。

突如、死者が彷徨い歩く世界に投げ出されたヒロイン。迫りくるゾンビから逃げながら、ダウンタウンの外れにいる妹シンディの救出に向かう彼女が遭遇する凄惨な場면을、時間を追って立体化し、シリーズ展開していきます。

第 1 弾は、ヒロインが交通事故で気を失い、意識を取り戻すと街中にゾンビが蔓延しているところから物語はスタート(Day 1, 午前 11 時 50 分 フリーウェイ)。シリーズが進むにつれ、肉体の損傷具合が異なる、様々なタイプのゾンビが登場します。

状況は悪化するばかり。世界の終わりを待つだけなのか……

付属のパーツと交換したり、好みの色で塗装したり、自由な解釈でゾンビによる世界の終末を創作、そして記録していただきたい。それが Gecco の「地獄のゾンビ黙示録」なのです。

【商品仕様】

カテゴリ:1/16 スケール ゾンビ プラスチックモデル

ブランド名:ブラックラベル(BLACK LABEL)

※ゾンビやモンスターなどダークな題材を扱うプラモブランド

シリーズタイトル:地獄のゾンビ黙示録 -Tales from the Apocalypse-

原型制作:笠井晶次郎/サンダーロードスタイル

メーカー希望小売価格:税込 3,280 円(各アイテム)

発売時期:2016 年 5 月(第 1 弾)

コピーライト:©Gecco

【シリーズ第 1 弾】

Day 1, 午前 11 時 50 分 フリーウェイ

●Series No.01 ヒロイン/彼女

本シリーズの主人公。

親戚に預けた妹を迎えに行く途中、フリーウェイで交通事故に遭う。そして気がつくとゾンビパンデミックの真っ只中に取り残されていた。彼女の目的はひとつ。一刻も早く妹シンディと再会し、この地獄から脱出しなければならない。

全高 100 mm、全 22 パーツ

オプションパーツ:ハンドバッグ、ゾンビヘッド





↑ オプションのハンドバッグ

↑ ゾンビヘッド

●Series No.02 トラック運転手

ボンネットトラックの運転手だった彼は、交通事故により死亡。その際にフロントガラスを突き破って車両の前方に飛び出し体を損傷。そのまま地面を転がりさらに損傷を深める。無傷な半身と損傷した半身が対照的なゾンビ。

全高 105 mm、全 15 パーツ。

オプションパーツ: キャップ、飛び出した内臓





↑ 飛び出した内臓



↑ キャップ

● Series No.03 誘導員

車両誘導中に突っ込んで来た SUV 車に引っ掛けられ、その勢いで背後の工事車両に叩きつけられて死亡。右足を粉碎骨折しているが、ゾンビ後の本人は足に構わず業務を遂行しようとし、奇妙に捻じ曲がった状態で動いている。

全高 115 mm、全 17 パーツ。

オプションパーツ: STOP サインボード、ヘルメット。左腕はサインボードを掲げている状態と、折れて捻じ曲がった状態を選択可能。





←折れて捻じ曲がった状態の左腕

【第1弾ストーリー】

Day 1, 午前 11 時 50 分 フリーウェイ

フリーウェイの事故から目覚めた彼女は、長い間自分が気を失っていたことに気がついた。裏返った車から這い出した彼女は、助けを呼ぼうと警察に電話をかけるが通じない。時間を見ていると今は午前11時50分。

落ち着いて見回せば周囲は事故車だらけ。

もしかすると大規模な災害で通報が殺到し、回線がパンクしているのかもしれない。

彼女は大切な事を思い出した。自分は親戚の家に預けている妹、シンディを迎えに行く途中だったのだ。

もしこの周辺が同じような状況ならば、シンディの身が心配だ。

それに事故を起こしてから半日近く自分は気を失っていたらしい。
昨日の夜に迎えにいくはずだったシンディも私の心配をしているに違いない。
とにかく通じる電話を借りるか、誰か助けを呼ばなければと考える彼女の前に、人影が近づいてきた。
ヨタヨタと歩くその太った男はトラック運転手のようだが、体の半分が事故でぐちゃぐちゃだった。
生きているのが不思議なほどの大怪我だ。夢遊病のようにゆっくり進む男の目は白濁して虚ろである。
近づいてはいけないと直感した彼女は、ゆっくり距離をとって別の人を捜そうと周囲を見回すと、フリーウェイの道路工事の案内人が停止プレート掲げて立っていた。
思わず彼女は駆け寄ったが、道路工事の案内人の背面には致命傷としか思えない無惨な傷が深々と刻まれ、背骨どころか脳まで見えかけている。
彼女は理解した。この人たちは「死体」だ。周囲を見回してみれば、他にも人影はある。しかしそのどれもが緩慢に揺らいでいる。
ということは、すべてがさっきの太った運転手やこのねじれた案内人と同じ「死体」なのだ。
死体が動いている、という現実と恐怖の前に、彼女の脳裏をよぎったのはシンディの姿だった。
シンディが待っている。
彼女はダウンタウンを目指し、フリーウェイから駆け出した。一刻も早く、愛する妹の元へ行かねばならない。
死者が動き始めた街で、彼女の長い1日が始まった……

【第2弾予告】

Day 1, 午後1時57分 ダイナー

ゾンビが徘徊する事故現場からどうにか脱出したヒロイン。助けを求めダイナーを目指す……

●Series No.04 コック ●Series No.05 ウェイトレス ●Series No.06 バイカー



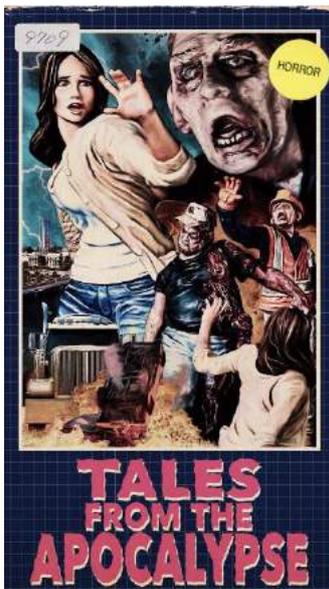
【パッケージボックス】

パッケージは VHS ビデオケースサイズで、本棚にも並べやすいコレクション性の高い製品を目指します。また、80 年代ホラー映画のビデオパッケージを彷彿とさせるデザインに、往年のレンタルビデオショップで何回も貸出されたかのようなダメージや、ショップのシールもアートに取り込んでいます。



キャラクター毎にパッケージアートが変わるので、模型は組まずにコレクションしたいというユーザーにとっても魅力的な商品です。

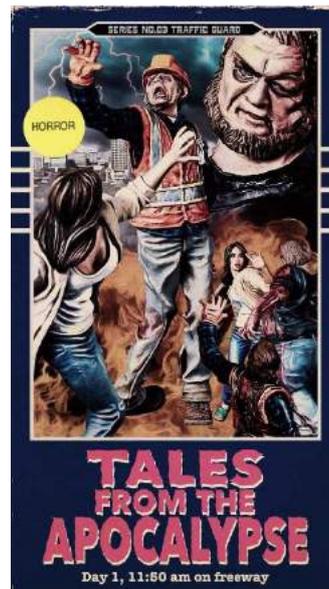
No.01 表



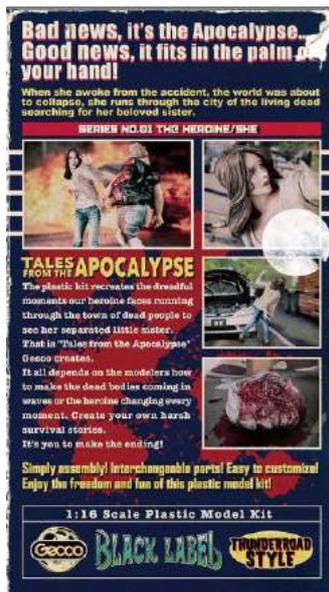
No.02 表



No.03 表



No.01 裏



No.02 裏



No.03 裏



※上記パッケージデザインは海外版です。日本流通パッケージは日本語表記です。

【今後のシリーズ展開について】

プラモデルという特製を活かし、模型誌(モデルグラフィックス誌さんなど)で記事を組んでいただく予定があります。

また、ポータルサイトを構築中で、読み物としてのストーリーを連載したり、インターネットを活用したり、様々な展開を予定しています。

本シリーズは全4弾(合計12種)に加え、エクストラ2種の合計14種の原型が既に完成しており、さらなるシリーズ化も視野に入れていきます。

いまや普遍的なコンテンツとなったゾンビを、「10年後も売り続けていけるプラモデル」として展開していきます。

株式会社 **Gecco**